



## マネージャとアシスタントの挿入

Cisco CallManager Bulk Administration (BAT) を使用して、Cisco CallManager の Cisco IP Manager Assistant (IPMA) 機能を管理できます。BAT では、マネージャやアシスタントの IP Phone を追加できます。

Cisco IPMA 機能は、いくつかの Cisco IP Phone モデルとデバイス プロファイルに対して利用できます。Cisco IPMA には、マネージャとアシスタントの回線で Cisco IPMA 機能を利用するための設定モードとして、次の 2 つが用意されています。

- プロキシモード：マネージャのプライマリ回線は、アシスタントの電話機とは異なる電話番号を持つプロキシ回線と関連付けられる。詳細については、[P.26-2 の「プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定」](#)を参照してください。
- 共有回線モード：マネージャとアシスタントの電話機が共有回線を持ち、同じ電話番号とパーティションを使用する。詳細については、[P.26-8 の「共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定」](#)を参照してください。

BAT を使用して、マネージャとアシスタントの電話機に、プロキシ回線または共有回線を設定することができます。

## Cisco CallManager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入

マネージャとアシスタントの新しいアソシエーションを挿入したり、既存のアソシエーションを更新したりするには、CSV データ ファイルが必要です。詳細については、P.26-10 の「マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成」を参照してください。

BAT がマネージャとアシスタントのアソシエーションを更新するときは、インターコムの電話番号や関連付けられているデバイスについて、既存の Cisco IPMA 回線設定は変更されません。



### 注意

Cisco IPMA の最小構成をサポートするために必要な数の回線をアシスタントの電話機が持っていない場合、マネージャとアシスタントのアソシエーション作成は失敗します。

### 始める前に

次の 2 つの手順のいずれかを使用して、マネージャとアシスタント用の電話機が設定されていることを確認してください。

- プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 (P.26-2)
- 共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 (P.26-8)

Cisco CallManager データベースにマネージャとアシスタントの新しいアソシエーションを追加または更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** **Bulk Administration > Managers/Assistants > Insert Managers/Assistants** の順に選択します。Manager/Assistant Options ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** **File Name** フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** マネージャがエクステンション モビリティを使用している場合は、**Configure managers as mobile managers** チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** すべての電話機に共有回線がある場合は、**Uses shared lines** チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** Insert Options 領域で、作成した CSV データ ファイルのタイプを次のうちから選択します。
  - **Default** : 標準の CSV データ ファイルを作成した場合は、CSV ファイルのデータに基づいて、このトランザクションのアソシエーションのタイプを選択する。
    - Associate one or more assistants to a manager
    - Associate one or more managers to an assistant
  - **Custom** : プロキシモードのためのカスタム CSV データ ファイルを作成した場合に選択する。
- ステップ 6** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 7** マネージャとアシスタントを即座に挿入するには、**Run Immediately** オプション ボタンをクリックします。後で挿入するには、Run Later をクリックします。

**ステップ 8** **Submit** をクリックして、マネージャとアシスタントのレコードを挿入するジョブを作成します。

**ステップ 9** Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。



**(注)** ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。アシスタントまたはマネージャの設定の更新を BAT で実行しているとき、利用可能回線数の不足が原因で変更が一部しか完了しなかった場合は、トランザクション レコード全体が失敗します。

**ステップ 10** 変更内容を有効にするには、Cisco IPMA サービスを再起動する必要があります。

#### その他の項目

詳細については、[P.27-3 の「関連項目」](#) を参照してください。

## 関連項目

- [プロキシ回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 \(P.26-2\)](#)
- [共有回線モードでの Cisco IPMA 用の電話機の設定 \(P.26-8\)](#)
- [マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成 \(P.26-10\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)

